

瑞雲

ずいりん

第94号

平成24年5月17日発行
瑞雲：めでたいしるしの雲の意

明日を拓く 直方鉄工青年会

直方鉄工青年会
第48代会長

田 潤 元 悟

■平成24年度スローガン■

勇猛果敢に挑もう
～終わりなき道への挑戦～

この度、平成24年度直方鉄工青年会第48代会長を仰せつかりました田潤元悟と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。この歴史ある青年会の会長となり、不安と緊張そして責任の重さを感じております。この様な貴重な機会を与えて頂いた皆様に感謝し、任期は1年間ではありますが、後悔しないように勇猛果敢に邁進致したいと思います。また、日頃より私どもの活動に御支援、御指導を頂いております特別会員の皆様をはじめ関係諸団体、友好団体の皆様には深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内・国外と様々な出来事がありました。東日本大震災・原子力発電所の事故・ヨーロッパ財政危機・記録的な円高・タイの大洪水等色々ありました。特に3月11日の東日本大震災は、千年に1度という巨大地震であり甚大な被害が発生し、多くの尊い命、財産が失われました。復興復旧について今後長い期間の取り組みが求められます。お亡くなりになられた多くの方々の御冥福と被災された方々の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、この度掲げた今年度のスローガンは「勇猛果敢に挑もう」です。現在、青年会員は29名であり、平均年齢は38歳です。青年会は皆様ご存じの通り会長をはじめとした組織で成り立っており、毎月事業を開催し、各委員会や役員会で議論し合い会員一丸となって青年会の活動に励んでおります。私達はこれらの活動を通じ、何に学び、何を経験するのが重要です！会員全員がいずれは皆、経営者並びに管理者になります。また既に経営者の会員もいます。経営者によく孤独と言われます。しかし、その孤独・孤立・誘惑に負けないためには強い気持ちで戦い続けなくてはなりません。自信を持って強い気持ちを持続させるには、経験・知識・意欲・自分自身への厳しさ、そして、同じ境遇の仲間を持つ事だと思えます。

青年会は正に、この生涯の仲間と出会い、成長する場だと思います。私は先輩や同級生また後輩からも、刺激・厳しさ・勇気・知識・情報・相談等を学び、経験致しました。何より大事なその仲間から『恥をかく』ことも経験させて頂き、学びを得ました。



この様な経験を積み重ねて学んでいけば、将来自分への自信に繋がると思います。会の代表者になる時や会社の代表者になる時に孤独に負けないためにも、勇ましく、そして強く、決断力があり、幾多の困難にも負けず、思い切った物事を決断し行動し、挑んでいくことだと思います。私は本年度会長として、また一経営者として良い時代でも悪い時代でも「勇猛果敢に挑もう」をスローガンに掲げ邁進致したいと思います。

又スローガンのサブタイトルを「終わりなき道への挑戦」としました。「終わりなき道」とは、これからも続いていかねばならない直方鉄工青年会や自分達の会社のことであります。私達を取り巻く環境は、先が見え難い非常に厳しい経済状況にあります。その様な中、どの様にして会を存続していくのか会社を永続していくのか、その事を私達は常に考えていかななくてはなりません。これからの青年会は今以上にスキルを向上し、また過去の青年会の歴史を再度学び、チームワーク・組織力を高め、次世代へ繋がる様、レベルUPが必要です。特別会員の皆様方からも「魅力ある会になった！」と感じて頂ける様に運営していきたいと思えます。これから続く長い道のりを、私達は常に前進し挑戦していかななくてはなりません。この様な気持ちで「終わりなき道への挑戦」をサブスローガンと致しました。

最後に、これから先も私達は非常に厳しい環境に立ち向かっていかなくてはなりません。来るべき50周年に向けて、今後も「勇猛果敢に挑もう」という気持ちで、夢に向かって困難に打ち勝つ集団でありたいと思えます。これから青年会入会候補者の方々や会社などにPR活動として御訪問させて頂くことになると思いますが、ご理解の程、宜しくお願い致します。今後の活動に関して皆様方の更なる御指導、御鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

委員長決意表明

今年の青年会は俺達で
回すんじゃあ！！

今年度の総務委員長を務めます、憚得居商店の得居剛と申します。
まず、4月通常総会・懇親会を無事に開催出来ました事をご臨席賜りました御来賓、特別会員の皆様に厚く御礼申し上げます。
さて、今年度総務委員会として、先月開催致しました4月通常総会・懇親会をはじめ、9月秋の祭典準備、2月通常総会・懇親会と毎月の例会を担当させて頂きます。事業例会の段取りや準備を着実に実施することで、ご指名頂いた第48代田淵会長の一年間を素晴らしいものになるように貢献したいと思っております。
今期総務委員会には、厳しく頼もしい副会長や会長経験者が3名居ます。自分を含め若手メンバーのスキルアップには、とても良い環境にあり、感謝しております。先輩の経験をお聞きし、自らの力にして成長していき、会を盛り上げていきたいと思えます。最後になりますが、まだまだ、至らぬ点が、多々あるとは存じますが、精一杯務めていく所存ですので、御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



得居 剛
総務委員会
委員長



山口 高広
厚生・経営委員会
委員長

今年度、田淵会長より任命頂き、厚生・経営委員長を務めることとなりました山口高広と申します。経験不足による不安が大きいです、今の不況をぶっ飛ばすように頑張っていきたいと思えます。
さて、我々厚生・経営委員会の方針は、
1. 厳しい現在の状況に打ち勝つべく、主に若手会員のスキルアップを目指す
2. 会員ご家族に会活動及び会員の魅力を理解してもらい、会員・会員家族と一緒に楽しさを共有できる場を作る
以上2点でございます。この方針に基づき各事業を委員会メンバーが一丸となり、仕事と両立させ盛り上げていきたいと思えます。最後になりますが、精一杯がんばりますのでご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

決意表明ですが、今年もヤフードームに40試合以上応援に行き、声をからして応援し、時に野次り、ホークスの2年連続日本一に貢献したいと思えます・・・え、違う?? 青年会の方?大変失礼致しました。
今年度、広報・50周年準備委員会の委員長を務めさせて頂きます内藤誠治です。
『50周年』という重みのある名のついた委員会を運営していくということで、非常に気合が入っております。
事業としては、7月と10月に50周年に向けた会議を実施し、望年会や決起旅行も担当させて頂きます。また、広報活動として瑞雲の発行や入会案内の作成、50周年に向けた過去の発行物や写真等のデータ整備、そしてホームページを立ち上げたいと考えております。非常に盛り沢山ではありますが、一つ一つの事業に魂を込めたいと思えます。二回目の委員長ということで、今回は特に若手のレベルアップにも注力致したいと考えております。
一年間突っ走り続けますので、皆様何卒宜しくお願い致します。



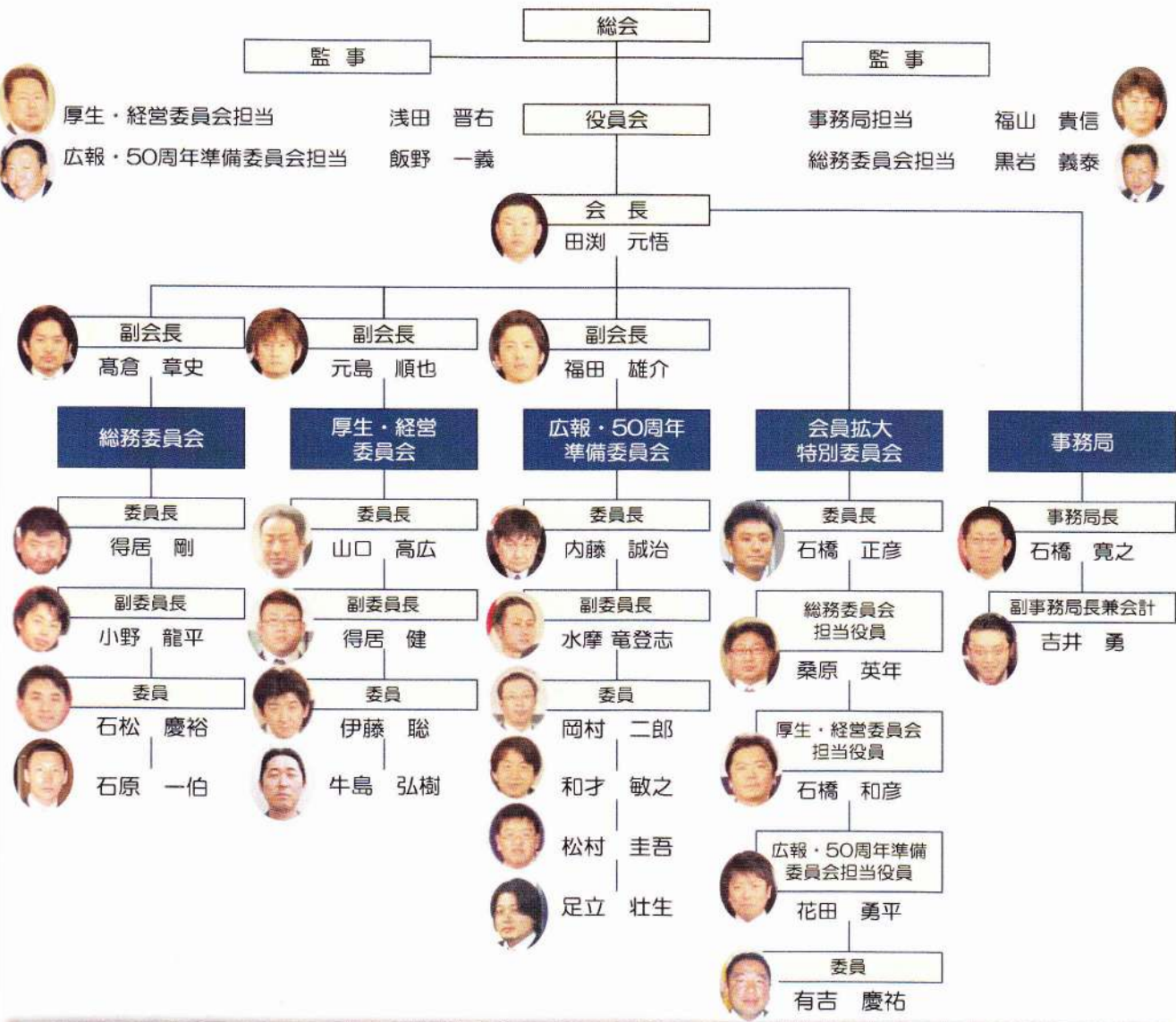
内藤 誠治
広報・50周年準備委員会
委員長



石橋 正彦
会員拡大特別委員会
委員長

50周年に向け動き出した青年会ですが、卒業を迎える先輩が数多く、会員一同大きな危機感を感じております。そこで、田淵会長の発案で会長直下の組織として会員拡大活動専門の委員会を作ることとなりました。私はその委員長を務めます石橋正彦です。今年度多数の方に入会頂くという事を第一に考え活動して参りますが、それだけではなく、来年度以降も新入会員を獲得するという事が当たり前となるよう、会内外の皆様のお力をお借りしながら試行錯誤して参ります。
当会の入会資格は、直轄地域に会社または自宅を有する20歳以上45歳以下の次期経営者・管理者です。特に若い内は仕事を覚える事に無我夢中で、青年会での活動が負担になるのでは?という見方もあるかもしれません。しかし経営者や管理者として仕事や青年会活動をこなしている先輩やOBの方々や若い内から様々な活動を共にすることで、仕事に活かせる様々な気づきを得る事が出来ます。若ければ若いほど入会をお勧めします。ご子息や、お知り合いの方で入会適格者がいらっしゃったら是非ご紹介下さい。宜しくお願い致します。

平成24年度 直方鉄工青年会 組織図



平成24年度 年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総務委員会	総会 懇親会	例会	例会	例会	例会	例会 秋の祭典	例会	例会	例会	例会	総会 懇親会	例会
厚生・経営委員会			ビジネス マナー講座		家族対象 事業			産業祭り		特別会員 合同新年会		
広報・50周年準備委員会	入会案内 発行	瑞雲発行		50周年 会議			50周年 会議 (OB合同)		望年会(*)			50周年 決起旅行 瑞雲発行
事務局	手帳作成	会活性化 事業		夏祭り	初盆参り				会長選考 委員会 もちつき		厄払い	会計監査

*「年忘れ」ではなく、「苦労を忘れず、新たな年の明るい未来を望む」という意味を込めて「望年会」としております。

直方鉄工青年会1月通常総会



平成24年度4月通常総会懇親会

2012.4.18 於：グランデビュ

皆様のご協力により、盛大に開催することが出来ました。有難うございました。



新たな仲間のご紹介

株式会社松村塗料商事 松村 圭吾

今年度より入会させて頂くことになりました。松村塗料商事の松村圭吾と申します。青年会の皆様とはビジネスや地域活動で交流させて頂いておりましたが、今回仲間として受け入れて頂き感謝しております。

鉄工青年会は活動を通して様々なものの考え方や行動していくことを経験し、自分の成長へとつなげていく場所だと思っています。実際のところ仕事の面ではまだまだ勉強中の身、未熟者ですが青年らしく元気に何事にもチャレンジしていきたいと思っています。

様々な業種の皆様との交流に刺激を受けながら自分のため、会社のため、地域のために頑張っていきたいと思っています。

若年年齢はありますが、元気に活動していきたいと思っています。よろしくお願いたします。



「今年の青年会は違う！」そんな噂を良く耳にする。そこで、真相に迫るべく、広報・50周年準備委員会のホープ水摩副委員長が、田淵会長の女房役である石橋事務局長に、総会前の慌しい中、緊急インタビューを敢行した。

水摩：各所から「今年の青年会は一味違う」という声が上がっています。事務局長から見て『ここが違う！』という所はどこでしょうか？

石橋：まずは『組織』が違うと思います。2年後の50周年に向けた準備をスタートする目的で「広報・50周年準備委員会」を設置し、また「会員拡大特別委員会」を立ち上げました。この「会員拡大特別委員会」には田淵会長も参加しております。

水摩：田淵会長の意気込みが感じられます。活動内容はいかがでしょうか？



石橋 寛之
事務局長

緊急インタビュー 「ここが違うぞ！今年の青年会！！」

石橋：一つ一つの事業に田淵会長が考える趣旨や予算案が反映されており、密度の濃い事業が開催されるのではないかと期待しています。

水摩：気合いの入った活動が展開されそうですね。役員会にも新たな試みがあるとか？

石橋：結束力を高める意味で役員会の前に「直方鉄工青年会の歌」を斉唱しています。また、若手のスキルアップや委員会での議論のレベルアップを狙いとした、席順の固定化や審議時間の設定などを導入しています。

水摩：緊張感のある役員会が目に見えそうです。なるほど、良く分かりました。貴重なお時間有難うございました。



水摩 竜登志
広報・50周年準備委員
副委員長